

科目名 :	生物と地球環境				
英文名 :	Organisms and Global Environment				
担当者 :	阿野 貴司・秋田 求・細井 美彦・松本 和也・三谷 匡・宮本 裕史・ 泉 秀実・岸田 邦博				
開講学科 :	共通教養科目				
単 位 :	2単位	開講年次 :	1年次	開講期 :	後期
科目区分 :	共通教養科目				
備 考 :					

■ 授業概要・方法等

生物集団は、気候、日照・温度、水環境、土壌環境などの多くの環境から強い影響を受けながらそれらに適応し、大きな多様性を生み出している。本講義では、生物の存在・形成・発達に対して多様な環境要因がどのような影響を及ぼすのかについて、生物の示す進化と多様性の視点を軸に解説し、人間が地球環境を保全し健康で幸福な生活を送るためになすべきことを科学技術の観点から考察する。

■ 学習・教育目標及び到達目標

受講生は、地球規模での環境の変化と、それに適応し進化してきた生物との関連性を、生物学的観点から理解できるようになることを目標とする。この科目の修得は、近畿大学の教養教育の目的1の達成に關与する。

■ 成績評価方法および基準

小試験（阿野・秋田） 35%
宮本課題レポート（ルーブリック評価） 5%
三谷課題レポート（ルーブリック評価） 15%
松本課題レポート（ルーブリック評価） 5%
細井課題レポート（ルーブリック評価） 5%
レポート（泉・岸田） 35%

■ 試験・課題に対するフィードバック方法

レポート課題に関する要点と解説を、UNIVERSAL PASSPORTに掲載する。

■ 教科書

特になし。

■ 参考文献

[ISBN]9784274219276 [絵とき] 植物生理学入門 山本良一（編） オーム社（2016年）
[ISBN]9784759811070 植物生理学 三村徹郎・鶴見誠二（編著） 化学同人（2009年）
[ISBN]9784274208201 環境科学 吉原利一（編） オーム社（2010年）

■ 関連科目

特になし。

■ 授業評価アンケート実施方法

大学実施規程に準拠して行います。

■ 研究室・メールアドレス

阿野研究室（西1号館4階458）・tano@waka.kindai.ac.jp
秋田研究室（西1号館5階557）・akita@waka.kindai.ac.jp
松本（和）研究室（西1号館6階658）・kazum@waka.kindai.ac.jp
三谷研究室（東1号館5階521）・mitani@waka.kindai.ac.jp
細井研究室（西1号館6階652）・hosoi@waka.kindai.ac.jp
宮本（裕）研究室（西1号館4階457）・miyamoto@waka.kindai.ac.jp
泉研究室（西1号館4階453）・izumi@waka.kindai.ac.jp
岸田研究室（西1号館4階159）・kishida@waka.kindai.ac.jp

■ オフィスアワー

複数教員のため、UNIVERSAL PASSPORT (<https://waka-unipa.itp.kindai.ac.jp/>) のオフィスアワーを参照すること。

■ 授業計画の内容及び時間外学修の内容・時間

第1回 地球環境 (1) (阿野)

予習内容：地球環境問題の整理

予習時間：30分

復習内容：地球環境の成立と地球環境問題の本質的原因

復習時間：30分

第2回 地球環境 (2) (阿野)

予習内容：地球環境問題の原因と持続可能な社会と環境技術

予習時間：30分

復習内容：持続可能な社会

復習時間：30分

第3回 植物と環境 (1) (秋田)

予習内容：参考図書等を手がかりに植物の構造，光合成反応，窒素同化経路について調べる。「気孔」，「葉緑体」，「光化学系Ⅰ・Ⅱ」，「ルビスコ」，「カルビン回路」，「硝酸還元酵素」，「GS-GOGAT経路」，「グルタミン酸合成」をキーワードとして予習する。

予習時間：90分

復習内容：予習した内容，ユニバに掲載したパワーポイント（講義中の資料）と授業中に書いたメモをもとに講義ノートを作成させる。

復習時間：60分

植物の作用により周辺の環境が変化する。その例として，温度低下，二酸化炭素吸収・同化，無機窒素吸収・同化について，その仕組みとともに説明する。

第4回 植物と環境 (2) (秋田)

予習内容：参考図書等を手がかりに，窒素と硫黄の代謝経路，植物の異物代謝および土壌微生物に対する植物の影響を調べる。「窒素同化」，「硫黄同化」，「ファイトレメディエーション」，「根圏効果」をキーワードとして予習する。

予習時間：90分

復習内容：予習した内容，ユニバに掲載したパワーポイント（講義中の資料）と授業中に書いたメモをもとに講義ノートを作成させる。

復習時間：60分

植物の作用により環境を浄化できる。その例として，大気中の窒素・硫黄酸化物（NOX・SOX）浄化，土壌中の有機汚染物質や重金属汚染物質の浄化について，その仕組みとともに説明する。

第5回 地球環境と微生物・植物 (阿野・秋田)

予習内容：参考図書を活用しながら，講義中の資料，ユニバに掲載したパワーポイント，授業中に書いたメモをもとに，これまでの4回の講義内容を整理する。

予習時間：90分

復習内容：提示された復習問題に対する各自の答えを完成させる。

復習時間：90分

地球環境の成立過程と地球環境問題の内容、解決策と技術の理解を深める。その後、植物と環境とのかかわりに関する問題に答える。

第6回 動物門の普遍性と多様性 (宮本)

予習内容：無脊椎動物の形態について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：動物門ごとの制約について理解する。

復習時間：60分

第7回 野生動物の保護と環境の保全～Y染色体をもたない世にも奇妙なトゲネズミ～ (三谷)

予習内容：野生動物が絶滅に向かう要因について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：動物園が動物を維持する上で、現状の課題と今後取組べき方策について考察する。

復習時間：60分

第8回 人類対ウイルスの飽くなき戦い (三谷)

予習内容：ウイルスの類型、構造、増殖様式など基本的な事項について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：ウイルスがなぜ手ごわいのか、私たちの生活の中でウイルスから身を守るために、どのような対策を講じているのかについて理解する。

復習時間：60分

第9回 環境(光)と遺伝子～時計遺伝子～(松本)

予習内容：2017年ノーベル生理学・医学賞の受賞内容「体内の概日リズムを制御する分子メカニズム」について、ノーベル財団のHPを参照に予め調べる。

予習時間：30分

復習内容：多くの生命現象には、24日時間周期の日周リズム(概日リズム)が存在していることを理解し、その分子メカニズムについても考察する。

復習時間：60分

第10回 哺乳動物の生殖戦略から見るヒト不妊症治療(細井)

予習内容：脊椎動物の繁殖方法について調べておく。

予習時間：30分

復習内容：哺乳動物の生殖細胞の分化、配偶子の形成について理解する。また、不妊症の原因と発生工学技術による治療法の関係を理解する。

復習時間：60分

第11回 食料生産と自給率(泉)

予習内容：自給率の表示法について予習する。

予習時間：60分

復習内容：世界の食料生産環境の現状について復習する。

復習時間：60分

第12回 食料生産と遺伝子組換え技術(泉)

予習内容：遺伝子組換え方法について予習する。

予習時間：60分

復習内容：世界の遺伝子組換え食品の現状について復習する。

復習時間：60分

第13回 食料生産と栄養問題(岸田)

予習内容：日本における栄養問題、世界における栄養問題について、図書館やインターネット等を用いて調べる。

予習時間：60分

復習内容：授業で学んだ様々な栄養問題に関して、それらの背景には何があるのかを復習する。

復習時間：60分

第14回 ヒトにも地球にも持続可能なダイエットを考える(岸田)

予習内容：ダイエットに有効とされている食事内容について調べる。

予習時間：60分

復習内容：エネルギー収支という観点からダイエット、そして食料生産効率について理解できているか復習する。

復習時間：60分

第15回 食料生産と環境(泉・岸田)

予習内容：これまで学んだ食料生産とその環境に関するレポートを構想する。

予習時間：60分

復習内容：提出するレポート内容を論理的に確認する。

復習時間：60分

■ ホームページ